

救助服仕様書

富士山南東消防本部

- 1 物件名 救助服
- 2 規格 別紙仕様書のとおり
- 3 予定数量 救助服上衣 14 着
救助服ズボン 18 着
救助服ベルト 12 本
- 4 納入期限 発注から4ヶ月以内
- 5 納入場所 富士山南東消防本部総務課指定の場所
- 6 その他 同等数の中古救助服を引き取ること
受注後、採寸を行うこと

第1 総則

1 趣旨

この仕様書は、富士山南東消防本部において購入する消防職員用の救助服について、必要な事項を定める。

2 概要

救助服は、消防職員が着用する物件であり、消防活動に適するものであること。

3 条件

この救助服に使用する材料・付属品は、全般にわたって十分に検査が行われ、この仕様書に規定する事項のすべてを満たし、仕上がりが優良な製品であること。

4 見本の製作

総務課より指示のある場合は、この仕様書により見本を製作し、承認を受けること。

5 品質管理

受注者は、納入前に自主検査を行うとともに、製作工程上の品質管理の適正を図ること。

6 採寸

受注者の責任において採寸を行うこと。採寸にあつては総務課と調整すること。

7 その他

受注者は、救助服の使用素材について、紡績メーカーの出荷済証明書を契約後速やかに提出しなければならない。

この仕様書の内容について、疑義が生じた場合は、総務課と協議の上、解決すること。

第2 仕様

1 材料及び規格

(1) 表生地

帝人（株）コーネックス サージ C29456（当本部指定色）

(2) 名札用生地

帝人（株）コーネックス サージ C29456（当本部指定色）

(3) 縫糸

帝人（株）コーネックス #50

(4) 袋地

ポリエステル、レーヨン混紡スレーキとする。

(5) ボタン

同色タライ型 15 mm

(6) しん地、マーベルト

本部の承認を得たものとする。

(7) ボタン付け

手付の場合は2本糸にて1つの穴に2回以上通し、根巻き5回以上、コの字地とする。

(8) ファスナー

上衣前合わせ、左右胸ポケット、ズボンの左右アウトポケット、天狗前立てに使用する。

(9) 裁断

逆毛裁ち、斜め裁ち及びハギは認めない。

(10) 仕上げ

各部とも糸屑を取り去り、プレスを入念にし、コテずれ等は出さない事。なお洗濯・雨露等により著しく収縮、変形しない方法をとること。

2 形状

(1) 上衣

スタンドカラー、前、後、脇身頃、袖山付き3枚袖。背脇部ノーフォーク、ラグラン袖、肩当て、肘当て付、前立てから襟先までのファスナー開き、袖口ファスナー開き、左右ファスナー付玉縁胸ポケット、バックプリント付きとする。

(2) ズボン

長ズボン（膝部、曲線加工）、前後身上部及び膝部当て布付、裾シングル、両脇貼り付けポケット、前開きファスナー仕立て、ベルト通し5本。

3 縫製

(1) 上衣

ア 襟

- (ア) 衿芯を入れ衿幅約9 cm、後中心役10 cmとする。
- (イ) 襟裏は山刺し8本以上、腰刺し5本以上とする、
- (ウ) 襟中央に襟つりを縫い付ける
- (エ) 襟中央にサイズマークを挟み縫いする。
- (オ) 台衿は山型にして表裏共に挟み縫いする。

イ 袖及びカフス

袖は、ラグラン仕立ての袖山付き3枚袖とし、肘当てを付け、袖口開きの開口部には水かきを付きとする。両玉縁ファスナー止めとし、肘当てには、ダーツを2本入れダイヤ型の刺し縫いを施すこと。袖口には、ファスナー用カバーを縫い付ける。

ウ 袖付け

- (ア) 襟部分から袖口にかけての曲線縫いとし、下袖の縫い部分から脇縫い部分にかけて1枚布で曲線を合わせ前後の身頃に縫い合わせる。
- (イ) 脇見頃の脇下部に船型の穴を開け、内側へ折り返し縫い止める。周囲に飾りミシンを掛け、裁ち目は、オーバーロックかがりとし、口の両端は、ミシン止めをする。

エ 脇縫い

インターロックミシン縫いとし片倒しとする。

オ 胸ポケット

- (ア) 左右前身頃にファスナー付アウトポケット付きとする。
- (イ) ポケット口は、両玉縁とし内締めファスナー付とする。
- (ウ) ポケットは、端飾りミシンで縫い付ける。
- (エ) 口布は、内側へ折り返して、端は押さえ縫いし、裁ち目はオーバーロックかが

りとする。

カ 前合わせ

前合わせの開閉は、剣先までのオープンファスナーとし、ファスナー下部の両側に切れ込みを入れ、ファスナー操作が容易に出来るようにすること。

キ 前身頃

(ア) 前見頃襟付け下部より指定位置まで共生地を使用した二重とし、ダイヤ型の刺し縫いを施すこと。

(イ) 左右見返し部に胸ポケット位置を目安とした箇所に共布でループを取り付け、その下にマチ付きの小ポケットを縫い付ける。

ク 後身頃

(ア) 背の両側にノーフォークを付け、背ヨーク部分は、緩やかなVラインとする。

(イ) 背ヨーク部分は、ノーフォーク部を含め共生地を使用して二重とし、ダイヤ型の刺し縫いを施すこと。

ケ 標識

(ア) 背部に当本部指定文字及び色にて、プリントを入れる。内容は、図面の通りとする。

(イ) 左胸ポケット上部に、消防名、個人名札用の8 cm×3.5 cmのB面ファスナーを縫い付け、右胸には階級章用として4 cm×2.5 cmを縫い付ける。

コ 消防名、個人名札

(ア) 表生地を使用し、「富士山南東消防／各個人の姓（上段／下段）」を当本部指定色で刺繍し、裏面にA面布ファスナーを縫い付ける。

(イ) 寸法は、横約8 cm×縦約3.5 cmとする。

サ 裾

三つ折りの平裾とし、端縫いをする。

シ 片布 及びサイズ札

横約5 cm、縦約7 cmの当本部指定片布を左胸ポケット裏に縫い付ける。サイズ表示については、台襟に挟み縫いをする。

ス ホルダー

左胸ポケット位置より約115 mm上部に共生地にてタテ10 mm×ヨコ40 mmのホルダーを付ける。

(2) ズボン

ア 脇ポケット

左右脇の指定位置に、両玉縁ファスナー付きポケットを表地に縫い付ける。ポケット下部及び後部にマチ布を付ける。

イ 腰裏

マーベルト付きとする。なお、滑り止め部は二段とする。

ウ 前立て

芯を貼りファスナーを付け、ぶち抜きボタン止めとする。

エ ベルトループ

5本とし、ただし、後部の1本は、五角形とし、布で補強する。

オ 脇縫い及び内股縫い

脇縫いは地縫い片倒し飾りミシン縫い、またはインターロックミシン縫いとし、前後身頃の切り替えし部分に、幅約5cmの共生地を、両脇ダブルステッチにて押え縫いし、内股縫いは二重縫い又は、環縫いとしオーバーロックかがりとする。

カ 尻縫い

地縫い片倒し飾りミシン縫い、またはインターロックミシン縫いとする。

キ シック

共生地またはスレーキを使用し、身頃に縫い付ける。

ク 裾

シングルとし、内側に折り込む。裾留め用の面ファスナー付共生地ループを前身頃に縫い付け、後身頃に付けた面ファスナーにて調整装着出来るようにする。

ケ 当布（刺し縫い付）

前後身頃の各上部指定箇所（サイズにより当布面積は異なる）及び前身頃のプリーツを入れた曲線加工の膝部分に、共生地を用い二重にし、ダイヤ型の刺し縫いを施す。

コ 片布、及びサイズ札

サイズ札はベルトループに挟み、それ以外は左脇ポケット裏に縫い付ける。

4 補 則

梱包に当たっては、プレス後、適切な方法で折り、1枚ずつビニール袋に収納し納品する事。

【サイズ表】

(上 衣)

	胸	袖丈	着丈
A S	100	76	76
A M	106	79	78
A L	111	82	78
A L L	116	85	80
A 3 L	121	89	84
A 4 L	126	89	84

	胸	袖丈	着丈
B L	118	84	78
B L L	124	84	78
B 3 L	127	84	78
B 4 L	132	84	80

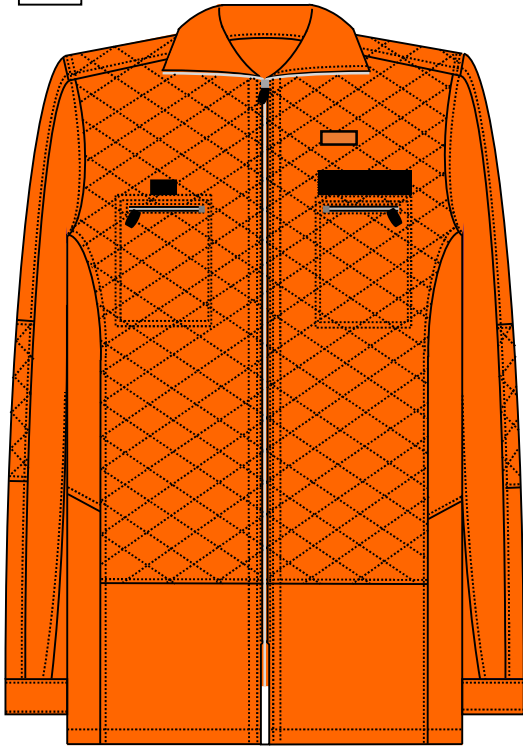
(ズ ボ ン)

	ウエスト	ヒップ	股上
S	73	94	24
M	76	97	25
L	79	101	26
L L	82	104	27
3 L	85	106	28
4 L	88	108	28

	ウエスト	ヒップ	股上
5 L	91	112	29
6 L	94	115	29
7 L	97	118	30
8 L	100	120	30
特 1	105	126	31
特 2	110	129	31

※股下は基準 74 cm

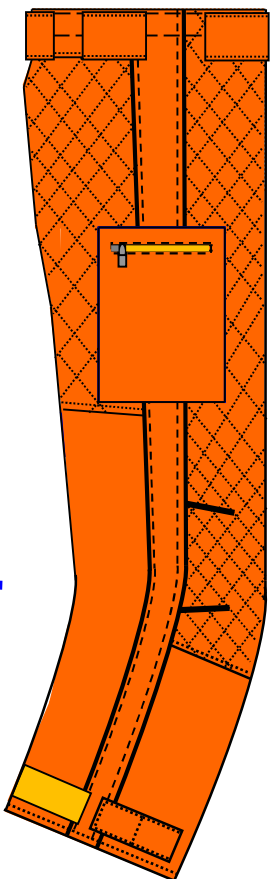
前



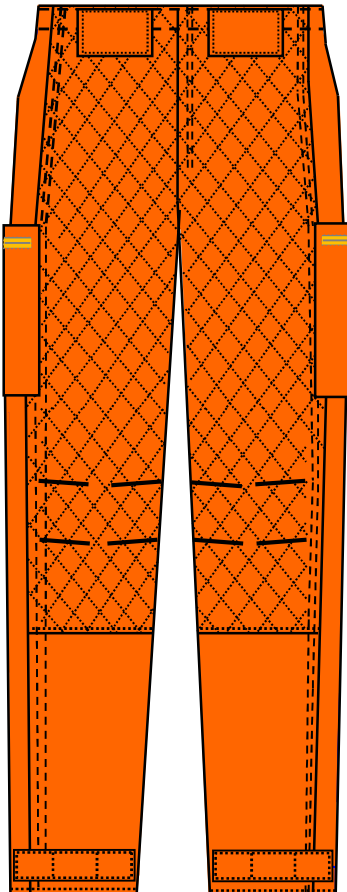
後



横



前



後

